


選択科目の受講は任意になります。

(\*) が付いている「とびらプロジェクト」と連携した3講義と、  
 藝大美術学部開講の「プログラム実践演習」「ケア実践場面分析演習」「ドキュメンタリー映像演習」については、  
 受講人数に上限があり、希望者が多い場合には抽選となります。

必修科目

オンライン= 対面授業=


2022.1.24【6版】

授業名	担当教員	担当スタッフ	取得時間	参加方法	場所	回数	開講日	曜日	開講時間	内容	タイトル	講師	講師所属・肩書き					
ダイバーシティ実践論・ケア原論	日比野克彦(教授) 伊藤達矢(特任准教授)	藤田まり	<ダイバーシティ実践論> 社会人受講生 =22.5時間 芸大学生 =2単位		オンライン (Zoom)	1	4月19日	月	18:20-19:50	<ダイバーシティ実践論> 様々な領域からオムニバス形式で講師を迎え、対話を交えながら、創造されるべき共生社会を考察し、実践につながる思考を編んでいくことを目指す。	<ダイバーシティ実践論>	久保田 翠	認定NPO法人クリエイティブサポート レッツ代表理事					
						2	4月26日	月	18:20-19:50			向谷地生良	北海道医療大学教授 浦河へての代表理事					
						3	5月10日	月	18:20-19:50			木津英昭	認定NPO法人ビッグイシュー基金 プログラムコーディネーター					
						4	5月17日	月	18:20-19:50			真下貴久	訪問介護事業所たかのわ 代表					
						5	5月24日	月	18:20-19:50			樋口直美	執筆家、レビー-体病当事者					
						6	5月31日	月	18:20-19:50			齋藤陽道	写真家					
						7	6月7日	月	18:20-21:30			<ケア原論> 福祉の歴史やケアの基礎的な考えを知り、私たちが取り巻く環境が抱える問題について理解を深める。また、福祉・アートの両領域における創造的な取り組みを参照することで、現代の福祉とアートの接点について考察する。アートを介し福祉をより多角的な視点で捉えてゆくことを目的とする。	<ケア原論>	飯田大輔	社会福祉法人福祉楽団 理事長			
						8	6月14日	月	18:20-21:30					飯田大輔	社会福祉法人福祉楽団 理事長			
						9	6月21日	月	18:20-19:50					井上普文	ワークショップデザイナー			
						10	6月28日	月	18:20-19:50					紅谷浩之	オレンジホームケアクリニック 理事長・医師			
						11	7月5日	月	18:20-19:50					馬場拓也	社会福祉法人愛川寿寿会 常務理事			
						12	7月12日	月	18:20-19:50					神野直彦	東京大学名誉教授			
					課題レポート①(前期)・・・8/31(火) 23時まで													
					オンライン (Zoom)	1	10月4日	月	18:20-19:50	<ダイバーシティ実践論> 様々な領域からオムニバス形式で講師を迎え、対話を交えながら、創造されるべき共生社会を考察し、実践につながる思考を編んでいくことを目指す。	<ケア原論>	奥田知志	NPO法人 抱樸 理事長					
						2	10月18日	月	18:20-19:50			近内悠太	教育者・哲学者					
						3	10月25日	月	18:20-19:50			堀田聡子	慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科 教授					
						4	11月1日	月	18:20-19:50			仁平貴子	NPO法人 6時の公共 代表理事					
						5	11月8日	月	18:20-21:30			飯田大輔	社会福祉法人福祉楽団 理事長					
						6	11月15日	月	18:20-19:50			五十嵐晴亮	アーティスト					
						7	11月22日	月	18:20-19:50			宮田 篤	美術家					
						8	11月29日	月	18:20-19:50			金川晋吾	写真家					
						9	12月6日	月	18:20-19:50			和合亮一	詩人					
						10	12月13日	月	18:20-19:50			海部陽介	東京大学総合研究博物館教授					
						11	12月20日	月	18:20-19:50			栗栖良依	認定NPO法人スローレーベル 理事長 プロデューサー					
12	1月17日	月	18:20-19:50	落合陽一		メディアアーティスト												
13	1月24日	月	18:20-19:50	山極壽一		総合地球環境学研究所 所長												
課題レポート②(後期)・・・1月22日(土) 23時まで																		

選択科目

授業名	担当教員	担当スタッフ	取得時間	参加方法	場所	回数	開講日	曜日	時間	授業内容	
プログラム実践演習 (*)	日比野克彦(教授) 橋本和幸(教授)	齋藤圭介 高橋美苗	社会人受講生 =22.5時間 芸大学生 =2単位	 一部オンラインも使用  ※オンラインのみの受講は不可	上野校地 (第3講義室)	1	5月29日	土	13:30~17:00 (3.5h)	ガイダンス	日本サッカー協会(UFA)と共同で行う演習です。日本サッカー協会(UFA)の社会貢献事業をテーマに、SDGs(持続可能な開発目標)を制作して学びます。具体的には、国内のスタジアムに設置される「センサリールーム」の企画立案・デザイン・スケジューリングから実際の試合での設置までをプロジェクト的に制作します。「センサリールーム」とは、強い照明や大きな音、人混みが苦手なパニックに陥る人たちが安心してスタジアムで観戦できるように配慮した空間の名称です。JFAなどサッカー界を中心に「センサリールーム」をスタジアムに設ける取り組みが広がりはじめています。授業内では実際に使用される当事者とも連携し、誰もが安心して観戦できる空間の設えを実践を通して学びます。
						2	6月12日	土	15:00-18:30 (3.5h)	制作①	
						3	7月10日	土	13:30~17:00 (3.5h)	制作②	
						4	9月26日	日	13:30~17:00 (3.5h)	制作③	
						5	10月31日	日	13:30~17:00 (3.5h)	制作④	
					国立競技場	6	12月19日	日	09:50~17:00 (5h)	天皇杯	

選択科目

授業名	担当教員	担当スタッフ	取得時間	参加方法	場所	開講日	曜日	時間	タイトル	授業内容
ケア実践場面分析演習 (*)	金野千恵	新妻葉子 高橋美苗	社会人受講生 =22.5時間 芸大学生 =2単位	   ※オンラインのみでも受講可能	第3講義室 or オンライン	8月7日	土	16:30-19:30 (3h)	ガイダンス	福祉施設やケアの現場、当事者と対話や、実際の現場を訪れリサーチを行い、どうすれば現場のケアをよりひらかれたものとし、社会と結びつけることができるかをグループに分かれてワーキングをします。グループワークでは約4名を1グループとし、実習先へのリサーチを行い、検証し、課題制作を行い、社会の中で実践を行います。それらの一連の展開をカタログやアーカイブ等公開を前提とした、レポートとしてまとめます。
					上野校地(体育館) or オンライン	9月19日	日	13:30-17:00 (3.5h)	中間チェック①	
					第3講義室 or オンライン	10月17日	日	13:30-17:00 (3.5h)	中間チェック②	
					第3講義室 or オンライン	11月21日	日	13:30-17:00 (3.5h)	作品講評会	
					DOOROOM or オンライン	1月23日	日	13:30-17:00 (3.5h)	報告会	
					DOOROOM	成果展 1月26日(水)-1月30日(日)				
					各施設に準ずる		最大10h	施設への取材 成果物の提出(発表)	<予定。改めて初回授業時にアナウンスします。> ・担当の施設への取材を行う。(日程はグループ毎に調整) ・標準取材日数 3日間(1日以上は必ず参加をしてください。) ・【取材】1回につき、2.5時間加算。最大2.5時間×3回=7.5時間まで加算。 ・【成果物】の提出=2.5時間の加算 ・【レポート】の提出=1時間の加算	

講師の都合により、開講日時が変更になる可能性があります。あらかじめご了承ください。

選択科目の受講は任意になります。

(\*) が付いている「とびらプロジェクト」と連携した3講義と、  
 藝大美術学部開講の「プログラム実践演習」「ケア実践場面分析演習」「ドキュメンタリー映像演習」については、  
 受講人数に上限があり、希望者が多い場合には抽選となります。

選択科目 2022.1.24 [6版]

授業名	担当教員	担当スタッフ	取得時間	参加方法	場所	開講日	曜日	開講時間	内容	
アート・コミュニケーション基礎 (*)	伊藤達矢 (特任准教授)	草野温子	社会人受講生 =22.5時間 芸大学生 =2単位		東京都美術館 上野校地 (第3講義室)	1	4月24日	土	10:00-15:00	コミュニティづくりの基礎を学ぶ講座。アートを通じて、対話やコミュニケーションが起こる場のデザインについてなど、芸術と社会を結びつける考え方や行動のあり方について学びます。 ※東京都美術館×東京藝術大学「とびらプロジェクト」と連携した集中講義。
						2	5月8日	土	10:00-15:00	
						3	5月22日	土	10:00-15:00	
						4	6月5日	土	10:00-15:00	
						5	6月19日	土	10:00-15:00	
美術鑑賞実践演習 (*)	稲庭彩和子 (非常勤講師)	藤田まり	社会人受講生 =22.5時間 芸大学生 =2単位		オンライン (Zoom)	1	7月12日	月	13:30-16:30	複数の人との対話を通して作品を味わい、作品やモノを介して人がつながる場をデザインするプロセスを学ぶ。作品のキャプションを確認するのではなく、対話を生み、自由な発想で、主体的にみる鑑賞の場づくりとは？講義と実践をとおして考える。 ※東京都美術館×東京藝術大学「とびらプロジェクト」と連携した集中講義。 ※AとBは、どちらかを選択。
						2・3	A日程：7月26日(月)+8月2日(月) B日程：8月14日(土)+8月15日(日)	9:30-16:30 9:30-16:30		
						4	10月4日	月	13:00-17:00	
						5	11月15日	月	13:00-17:00	
						6	2月14日	月	13:00-17:00	
						7	7月4日	日	13:00-15:30	
アクセシビリティ基礎 (*)	伊藤達矢 (特任准教授)	藤田まり	社会人受講生 =22.5時間 芸大学生 =2単位		東京都美術館 上野校地 (第3講義室)	1	7月4日	日	13:00-15:30	障害の有無に関わらず、人々がアートを介して多様な価値にアクセスできる環境について学びます。障害をもつ当事者や社会的弱者の支援に取り組む組織・専門家からのレクチャーや、多様な人々を交えて実施するワークショップの企画立案の基礎的な知識を中心に進めます。授業では、各分野の専門家や当事者をゲスト講師に迎え進めます。 ※東京都美術館×東京藝術大学「とびらプロジェクト」と連携した集中講義。
						2	7月22日	木(祝)	13:00-15:30	
						3	9月12日	日	13:30-15:30	
						4	10月24日	日	13:30-15:30	
						5	11月7日	日	13:00-16:00	
						6	12月5日	日	13:00-16:00	
						7	1月9日	日	13:00-15:30	
<夏期集中講義> 人間形成学総論	渡邊祐子 (非常勤講師)	北沢美樹 高橋美苗	社会人受講生 =22.5時間 芸大学生 =2単位		オンライン (Zoom)	1	7月31日	土	9:30-17:00	この講義では、人間の性質や能力を育て形成する「教育」について考えます。具体的には、現代社会の教育と学びの問題から出発して、人間形成の基本原則について学び、さいごには一生涯を通じて学びの基礎的理解を身につけます。 1. ガイダンス 2. 現代日本の教育目標とは何か 3. 「教育」という言葉の理解① 教える側からの教育理解 4. 「教育」という言葉の理解② 学ぶ側からの教育理解 5. 教育的価値の問題をめぐって① 学びの意味(学力問題)とは何か 6. 教育的価値の問題をめぐって② 教える意味(教科問題)とは何か 7. 教育的価値の問題をめぐって③ 人間性の形成とは何か 8. 教育現場について① 教育現場とそれの対応 9. 教育現場について② 問題行動に対する理解 10. 教育現場について③ 産後と教育 11. 教育現場の構造① 産後関係の本質とは 12. 教育現場の構造② 共生の意味とは 13. グローバル化時代の教育① 他者理解の原理と言語 14. グローバル化時代の教育② 他者理解の原理と社会 15. 教育することは可能か 人と社会の間立つことの意味-総論(レポート)
						2	8月7日	土	9:30-15:00	
						3	8月21日	土	9:30-17:00	
						4	8月28日	土	9:30-17:00	
<夏期集中講義> アートプロジェクト実践論	奥山理子 (非常勤講師)	齊藤圭介	社会人受講生 =22.5時間 芸大学生 =2単位		オンライン (Zoom)	1	9月4日	土	10:00-16:00	今、全国各地で様々なアートプロジェクトが展開されていますが、今後アートプロジェクトはどのような方向性を持って進んでいくべきかという問いについて、実践的立場から検証と考察を行うことを目的としています。とくに、障害、貧困、国籍、高齢化などといった現代社会の抱える様々な課題や困難さとも向き合うさまざまな美術館(京都市美術館、HAPS(京都市京都市)、その他国内外の取り組みを題材として取り上げ、アーティストや現場を支える実務家たちの関わりを多角的に考察し、作品をつくることの意味について、またアートを介して多様な価値や人々と関わることの意味について考えることを中心に授業を進めていきます。※Zoomで実施します
						2	9月11日	土	10:00-16:00	
						3	9月18日	土	10:00-16:00	
						4	9月25日	土	10:00-16:00	
<夏期集中講義> 色彩学	日比野克彦 (教授)	北沢美樹	社会人受講生 =22.5時間 芸大学生 =2単位		オンライン (Zoom)	1	9月28日	火	9:00-17:00	「色に関する指令」に従い、日々の何気なく見ているものごとや美術館の展示作品を、普段と異なる視点を持って鑑賞することで、ひらめきやアイデアを得るワークショップを行う。「～してみよう」の形式で出題される設問に答えていくことで、自分の感覚している何かを言語化し、目に見えるかたちにしていく。また、各分野で研究実践を進めるゲスト講師を招き、色彩学など学術的な面からも色彩を学んでいく。(※美術学部 先端芸術表現科の集中講義。)   持ち物：筆記用具、色鉛筆、スケッチブック等 ※授業内容によって教材費を徴収することがあります。
						2	9月29日	水		
						3	9月30日	木		
<集中講義> ドキュメンタリー映像演習 (*)	日比野克彦 (教授) 森内康博 (非常勤講師)	齊藤圭介	社会人受講生 =22.5時間 芸大学生 =2単位		オンライン (Zoom) 上野校地 (第3講義室) DOORROOM	1	5月9日	日	11:00-12:30	日本サッカー協会(JFA)と連携して行う演習です。 日本サッカー協会(JFA)の社会貢献事業をSDGs(持続可能な開発目標)との関連によって、新たな広域の可能性と手軽な映像コンテンツ編集のスキルを学びます。情報通信技術の高度化によるメディア環境の変化とともに情報やメディアの扱い方も多様化しています。本講義では、iPhone等のスマホで動画素材を撮影したのち、タブレットですぐに編集するといった、初心者向けの新しい情報メディアを扱うことを目的としています。 機材の都合により定員は20名前後とします。超過した場合は抽選となります。 (※プログラム実践演習と連動している為、日程が重なる可能性があります。)  はじめはオンライン授業をベースとし、映像のスキルアップの講習を行います。後半から実際の現場へ赴き撮影や編集作業を行い、年度末に成果物を完成させます。  ※授業日以外に課外へ移動し、現場撮影をする日があります。 ※現場への交通費は履修者の負担となります。
						2	5月23日	日		
						3	5月30日	日		
						4	6月6日	日		
						5	6月20日	日		
						6	6月27日	日		
						7	7月4日	日		
						8	7月18日	日		
						9	7月25日	日		
						10	10月10日	日		
						11	11月14日	日		
						12	12月19日	日		
						13	1月16日	日		
						14	1月30日	日		
						15	2月6日	日		

講師の都合により、開講日時が変更になる可能性があります。あらかじめご了承ください。

DOOR eラーニング

授業名	取得時間	参加方法	場所	受講可能期間	内容
DOOR eラーニング	社会人受講生 =45時間まで		web site	2021年4月 - 2022年3月	前年度までのDOOR講義「ダイバーシティ実践論」「ケア原論」を中心に映像視聴ができます。視聴し、レポートを提出すると、時間数の加算が可能です。 時間数の取得上限は45時間までです。

DOOR特講

DOORでの学びを深めるテーマについて、不定期に実施する講義です。参加は任意。出席すると受講時間に加算されます。

この講義には、DOOR修生も参加する場合があります。開催時は、随時お知らせします。

授業名	担当教員	担当スタッフ	取得時間	参加方法	場所	日時	曜日	開講時間	ゲスト講師	内容
ARTs × SDGsプラクティス	日比野克彦	北沢美樹	社会人受講生 =22.5時間 芸大学生 =2単位		オンライン (Zoom)	5月25日	火	18:20~19:50	2021年度はDOOR担当教員の日比野克彦と各回、各科教員をゲストにアート×SDGsをテーマに講義を行います。芸術を介して持続可能な社会を考えるうえでの課題や展望について話し、DOORの掲げる福祉とアートが重なる領域を創造的に構築していくことを目指します。	
						6月8日	火	18:20~19:50		
						7月13日	火	18:20~19:50		
						10月19日	火	18:20~19:50		
						11月30日	火	18:20~19:50		
12月14日	火	18:20~19:50								
明後日朝顔プロジェクトについて	日比野克彦	新妻葉子	1時間		オンライン (Zoom)	5月31日	月	20:10~20:10		日比野教授が行う明後日朝顔プロジェクトについてレクチャーします。プロジェクトの誕生経緯や地域と地域がつながり、プロジェクトの広がりなどを話します。DOORではDOOR4期から明後日朝顔の活動がはじまり、収穫した種を今年DOOR5期へ繋げます。2021年よりDOORが正式な参加団体となりました。
TURN茶会	日比野克彦	新妻葉子	2時間		国立新美術館 企画展示室2E	「TURN茶会」会期中 7月23日(金)・8月9日(月) ※毎週金・土曜日は20:00まで ※入場は開館の30分前まで ※休館日：毎週火曜日		13:00~17:30	「TURN茶会」に付き、以下のに参加し、体験について感じたことをレポートを書くこと。 【条件】 ・日比野克彦のワークショップ「うみつくり」 ・「ワークショップ茶室」のワークショップ3つ以上 (可能であれば国際交流オンライン茶会の対話) 提出〆切：8/31	
ワークショップメイキング	館野泰一 (女教大 経営学 部 准教授)	渡辺梨恵子	3.5時間		オンライン (Zoom)	9月5日	日	13:00-16:30		人と人がつながるための、ワークショップの作り方やその理論を学ぶ授業です。特にコロナ禍の中で発達しているオンラインでのコミュニケーションの可能性について、オンライン・ワークショップ形式で考えます。
人体デッサン	伊藤達矢 田中一平	渡辺梨恵子	4.5時間		東京藝術大学 上野校地 大石書室	①：2021年10月16日(土) ②：2021年10月23日(土) ③：2021年10月24日(日) (※①~③のうち参加可能な1日を選択。)		13:00~17:30		本プロジェクトのテーマである「アート×福祉」の視点から、人体をよく観察し理解することを目的に人体デッサンを行います。造形的な視点、ケアの視点などを横断し、より総合的に「人体(人)」への理解を深めることを目指します。(教材費：1500円) ※3日開講しますが、3日とも同様の内容です。お一人につき1日のみ参加可能です。授業前にアンケートにて日程調整をします。
ワークショップ ブレインストーミング	伊藤達矢	渡辺梨恵子	3.5時間		東京藝術大学 上野校地 第3講義室	12月4日	土	13:00~17:00		個々人の趣味や傾向、経験を重ね合わせて、DOOR受講生ならではのアート×福祉の活動アイデアをブレインストーミング。DOOR受講生同士の対話の中から新しいアイデアを発見することを目的としたワークショップ形式の講義です。定員60名。